

新庁舎建設基本構想・基本計画 策定委員会ニュース

最終号（2021.1.25 発行）

《第12回策定委員会の概要》

平成31年3月から約2年に渡った策定委員会は、令和3年1月15日（金）に、最終回である12回目の開催に至りました。しかし、新型コロナウイルス感染症拡大による緊急事態宣言の発令を受けて開催規模を縮小し、委員長から区長へ、策定委員会の検討経過の報告と「新庁舎建設基本構想・基本計画」の手交のみを実施いたしました。今後は、この基本構想・基本計画を基に、基本設計方針の策定を進めていきます。



上山委員長の報告

- 新型コロナウイルス感染症の蔓延により、委員会の開催が危ぶまれたが、Webシステムを駆使することで、検討を継続できた。
- 全ての委員が区民にとって必要なものは何かということを真剣に考え、中身の濃いものになった。
- 水害や新型コロナウイルス等に直面する区の現状を重視し、防災機能を基本構想の先頭に掲げた。

区長のコメント

- こういった構想・計画は総花的になりがちだが、財政面や可変性を意識していただいている。
- 時代に合わせて進化する、夢のある庁舎であってほしい。`可変性`にその要素が盛り込まれている。
- デッキ設置により水害から命を守る機能を持つ。「安全・安心」の中身は時代によって変わるが、今できることを具現化していきたい。
- 窓口は浸水しない2・3階に設置し、さらに同階への駐車場設置によりバリアフリーが実現できている。

新庁舎建設の基本理念

- 基本理念1 “災害対応の拠点”として70万区民を守る、たくましい庁舎
- 基本理念2 “協働・交流の拠点”として開かれ、シビックプライドを高めていこうな庁舎
- 基本理念3 “区民サービスの拠点”として、誰にでも優しい庁舎
- 基本理念4 “日本一のエコタウン”実現に向け、環境の最先端を歩む庁舎
- 基本理念5 “健全財政”を貫きつつ、将来変化にも柔軟に対応できる庁舎

新庁舎建設のスケジュール



※新庁舎建設事業は、船堀四丁目2・3・6街区の権利者の協力を得ながら敷地の形を整理し、新庁舎および再開発ビルを建設する「市街地再開発事業」として行います。これにより、船堀駅を中心としたにぎわいのあるまちづくりを目指します。

《今後の予定》

パブリックコメント

令和3年2月1日（月）～2月14日（日）

策定・公表

令和3年3月末（予定）



策定委員会がまとめた基本構想・基本計画や検討経過は、区ホームページ（左の二次元コード）でご覧いただけます。

発行：新庁舎・大型施設建設推進室

新庁舎建設推進担当課

電話：03-5662-2605